

H24.2.24  
NO.23



# ふれあい119

# 糸

若畠災害対策本部

自主防災訓練（西和賀町・若畠区防災会）  
写真は活発な活動を展開している訓練風景

\*お知らせ 災害防御訓練の実施（北上市）  
3月1日（木）から3月7日（水）まで実施  
春は空気が乾燥し火災の発生しやすい季節です。  
火の取扱いには十分注意しましょう。

**春季全国火災予防運動**

## 春先にたき火・枯れ草焼きからの火災が多発 !!

北上市、西和賀町では平成23年にたき火・枯れ草焼きが原因で11件の火災が発生しております。ちょっとしたたき火・枯れ草焼きと思っていたはずが、人の命や住宅を失うまでの大きな火災になっています。

### 火災の共通点

- ・火をつけた後、その場を離れたときに火災となった。
- ・消したはずの火が残っていた。（水を使った消火ではなかった）

### 注意事項

\*屋外でのごみの焼却は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、禁止されています。

農林業を営むためにやむを得ないものや火祭り、どんど焼き、キャンプファイヤー等例外として認められていますが、次の点を守って行ってください。

- 1 絶対その場を離れない。
- 2 最後は完全に消火する。（水又は消火用具を準備）
- 3 風の強い日は実施しない。
- 4 例外として認められる中で、火災とまぎらわしい煙や火炎が発生する際は、消防署に届出をする。



自動式心臓マッサージ機導入

患者さんの胸囲に応じて、胸の厚さを自動で測定し効率のよい心臓マッサージを実現します。



西和賀消防署の救急車が新しくなりました  
昨年12月に高規格救急車が更新されました。室内が広くなり、最新の資器材を備えたことで、更なる救命率の向上が期待されます。

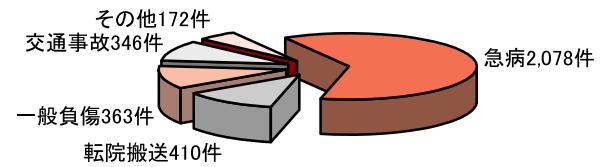
救急隊長からひとこと



西和賀消防署  
消防士長 渋川 誠 親

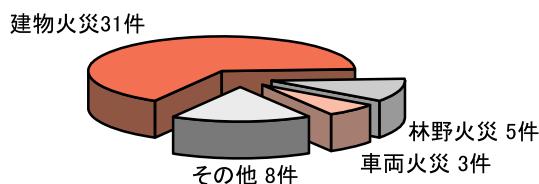
## 平成23年救急・火災統計

救急件数 3,369件



- ・高齢化による出動件数の増加が目立ちました。
- ・冬季間は、凍結路面での転倒による負傷者が多くなりますのでご注意ください。

火災件数 47件



- ・たき火などから周りに延焼する火災が目立ちました。
- ・建物火災は依然として多く、住宅用火災警報器の全戸設置が急務です。

## 住宅用火災警報器設置率調査

当組合管内の3行政区(1,108世帯)のご協力をいただき設置率調査を実施した結果

平成23年12月末時点 60.6%です。  
引き続き、普及活動を推進してまいります。



## 全国火災予防ポスター図案 佳作入選

(岩手県第1推薦作品)

(北上市立和賀東中学校一年生 阿部 舞さん)

夏休み自宅で二日間かけ作成しました。  
炎をイメージして描くのが難しかったです。





参考写真 岩手県で導入する同型機

**岩手県ドクターヘリ運航開始へ**

今年5月以降に本格運航が開始されるドクターヘリは、医師と看護師が搭乗し救急現場まで飛来し、救急隊とドクターヘリをヘリに乗せ医療処置をしながら医療機関まで搬送するため、救命率向上が期待されます。ヘリの基地は、矢巾町の岩手医大矢巾キャンパス内にあり、医師と看護師が常駐しており、通報から5分で離陸できるそうです。収容病院は、現在の近くのグランドや空地にドクターヘリが着陸することもあります。他の病院になることもありますので、ご協力をお願いします。

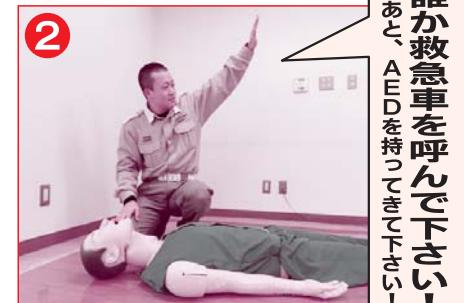
## ガイドライン2010

# 新・心肺蘇生法



### 意識の確認

肩をたたいたりして、呼びかけましょう。



### 助けを呼ぶ！

意識が無ければ…



### 呼吸の確認

胸、腹などを見て呼吸があるか確認する。(10秒以内で行う)



### 心臓マッサージ・30回

呼吸が無ければ…



### 人工呼吸・2回

人工呼吸は2回実施します。

人工呼吸が出来ないか、ためらわれる場合、心臓マッサージのみ行う。

心肺蘇生法の新しいガイドラインが発表されました。  
※主な変更点は2カ所。  
・呼吸の確認の時に、気道確保はしなくて良い。(写真③参照)  
・目の前で急に家族が倒れたら、声をかけて返事が無ければ大声で助けを呼びましょう。直ぐに救急車を呼び、息をしていなければ心臓マッサージと人工呼吸をしましょう。

※毎月第二日曜日の午前中、消防本部で救命講習(無料)を開催しています。  
※10人以上は、出張講習も可能です。  
詳しくは、下記にお問い合わせ下さい。

消防本部 警防課  
電話 0197-65-5176  
FAX 0197-65-5170

### 繰り返し

④と⑤を繰り返す。

～あの日から1年～

# あなたの備えは万全？

## 防災意識に関するアンケート調査

東日本大震災から約1年が経とうとしています。そこで、住民の方の防災意識に関するアンケート調査を市内のショッピングセンターにおいて行いました。

\*調査日：平成23年12月26日（月）午後実施 回答者：141人

質問1 東日本大震災後、困ったことはどのようなことですか？

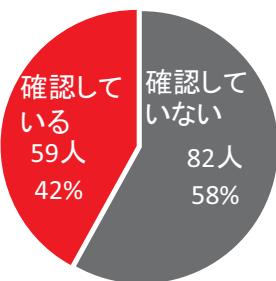
ライフラインの寸断	67
ガソリン等の入手	16
連絡手段	15
交通手段	3
暖房の確保	2
食糧の確保	2
入浴困難	2
その他	3

単位(人)  
(無回答あり)

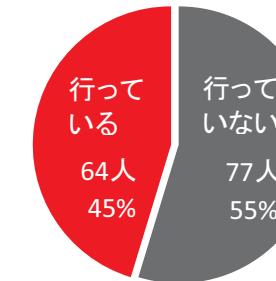
### その他の内訳(各1人)

- ・災害情報等の確認
- ・着替えの確保
- ・給水場所の確認方法

質問2 避難場所を確認していますか？



質問3 家具等の転倒防止対策を行っていますか？



質問4 防災用品は、どのような物を準備していますか？

ライト	80
ラジオ	71
水	54
食糧	53
救急セット	31
ガスコンロ	27
非常持出袋	16
電池	8
簡易トイレ	3

単位(人)  
(複数回答あり)



その他の準備品(少數回答)  
反射式ストーブ・ローソク・カイロ  
発電機・ガソリンなど

(特に準備していない:38人)

\*アンケート調査の集計結果について

- 約半数の方が、ライフラインの寸断が最も不便に感じたという結果でした。もう一度、大震災後に感じたことなどを思い出し、必要な対策を進めましょう。
  - 約6割の方が避難場所を確認しておりませんでした。避難場所を確認しておくことにより家族の安否情報をいち早く得ることができます。早めの確認をお願いします。
  - 半数以上の方が転倒防止等の対策を行っておりませんでした。家具等の下敷きになり家屋から避難できなかった事例が多くあります。家具等の転倒防止対策を進めましょう。
  - 約3割弱の方が、特に準備していないという結果でした。自分自身や家族に必要な防災用品をもう一度考え、少しずつ準備を進めて行きましょう。
- \* 防災対策は「これで万全」ということはありません。もう一度あの震災を思い出し、自分や大切な家族のため、少しずつでも防災対策を進めて行きましょう。
- 調査にご協力いただいた方にお礼を申し上げます。ありがとうございました。